

県及び市町等の実施する観光関連事業（圏域関係分）について

■第5期みやぎ観光戦略プラン 観光戦略プロジェクト（施策の柱）

回復戦略	感染症により落ち込んだ観光需要の回復
	(1) 安全・安心の機運醸成と可視化による選ばれる観光地づくり
	(2) 回復フェーズに応じた取組推進と観光資源の魅力再発見
成長戦略1	魅力あふれる観光地づくり
	(1) 特色ある地域資源の発掘・磨き上げと観光コンテンツの充実
	(2) 観光に対する地域住民や旅行者の意識醸成
	(3) 震災の経験を生かした復興ツーリズムや教育旅行の展開
成長戦略2	観光産業の体制強化
	(1) 地域経済循環力の強化
	(2) 地域を支える観光人財の育成・確保
成長戦略3	受入環境の整備促進
	(1) 旅行者の安全・安心確保
	(2) 多様化する旅行者の受入環境整備
成長戦略4	戦略的な誘客プロモーション
	(1) 旅行者のニーズやターゲットに応じた戦略的プロモーション
	(2) 東北各県や東北観光推進機構等と一体となった広域周遊観光の促進

●大崎圏域の施策の方向性及び取組

計画期間で対応が必要な取組

- ① 鳴子温泉街の賑わい創出に向けた取組など、「長期滞在したい」温泉街への変化と、ワーケーション、プレジャー等に適した観光の整備を行う
- ② 世界農業遺産としての魅力を活かし、教育旅行及び農泊について農業体験等ができるよう受入態勢を強化する
- ③ 三陸沿岸道の全線開通及びコロナ禍におけるマイクロツーリズムを契機とした観光客に対し、SNSを活用しながら大崎圏域の魅力を情報発信する
- ④ 観光のデジタル化（例：非接触型サービス、デジタルマーケティングなど）の促進、SNS等の更なる活用のため、ITに強い観光事業者が増えるよう研修会等を継続して行う

中長期的に対応が必要な取組

- ⑤ 長期滞在の観光地となるよう観光資源の磨き上げを図る。また、移住希望者が観光地における空き店舗を活用した事業ができるよう支援に取り組む
- ⑥ 観光と「食・農」との連携を進め、その基盤となっている暮らし・伝統行事などの郷土の特色及び地元で活躍している人を周知することでシビックプライドの啓発・醸成を図る

【プラン掲載事業】

① 県実施分

※決算、予算の単位は千円

担当課	事業名	事業概要	実施状況	令和4年度 （決算）	令和5年度 （決算）	令和6年度 （予算）	該当する戦略								施策の方向性			
							回復戦略		成長戦略1			成長戦略2		成長戦略3		成長戦略4		
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)		(2)	(1)	(2)
観光戦略課 (観光政策課)	観光地の空間的魅力創出事業	地域・産業の稼ぐ力の回復・強化を図るため、市町村が実施する観光施設の改修費等への嵩上げ補助により、地域一体となった高付加価値化に向けた取組を支援する。	○ 鳴子温泉郷の観光事業者等が実施した高付加価値化のための宿泊・観光施設の改修又は廃屋撤去等の経費について、県から嵩上げ補助を行った。 (R4年度)交付決定件数:31施設(観光施設改修:20施設、宿泊施設改修:10施設、廃屋の撤去:1施設)	○ (72,574)	—	—		●	●	●		●						① ⑤
観光戦略課 (観光政策課)	観光交通機能強化事業 (R5～観光地周遊促進事業)	観光地までの渋滞状況や、飲食店等の観光施設における混雑状況について、AIカメラ等を活用し、可視化するとともに、観光用のデジタルマップにより、観光施設情報と一体的に情報発信する。	○ 栗駒山、鳴子峡、松島の3地区において、紅葉時期等の観光シーズンに合わせ、駐車場や観光施設にセンサーやAIカメラを設置して混雑状況を把握し、デジタルマップ「ミヤギナビマップ」による情報発信を行った。 デジタルマップ閲覧数: R4年度22,801回 R5年度52,206回 ○ 観光シャトルバスの運行及びデジタルマップでの運行状況の表示など観光地内の周遊促進、移動の円滑化を図った。	○ (45,300)	○ (38,022)	○ (24,000)										●		① ③ ④
観光戦略課 (観光政策課)	教育旅行誘致促進事業	教育旅行を通じて本県の魅力を伝えることは、将来的に進学、就職、家族の旅行先などのリピーターづくりにも繋がり、長期的な交流人口の確保が見込めることから、教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行等コーディネート支援センターの運営やバス助成金及び北海道、関東、中部以西等でプロモーションを実施する。	○ 旅行者の相談や受入調整などのマッチング支援を実施した。 (R4年度)107件、延べ4,147名 (R5年度)113件、延べ4,950名 ○ 北海道、首都圏及び関西圏の学校関係者、教育旅行関係団体、旅行会社を対象としたセミナー等を開催した。 ○ 教育旅行関係団体や中学校・高校の教職員を対象とした教育旅行モニターツアーを開催した。 ○ 教育旅行バス助成事業を実施した。 (R4年度)239件、33,960千円 (R5年度)269件、31,140千円	○ (68,295)	○ (66,438)	○ (84,000)		●	●	●	●	●	●					②

担当課	事業名	事業概要	実施状況	令和4年度 (決算)	令和5年度 (決算)	令和6年度 (予算)	該当する戦略										施策の 方向性						
							回復戦略		成長戦略1			成長戦略2		成長戦略3		成長戦略4							
							(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)		(2)					
観光戦略課 (観光政策課)	宮城ワーケーション情報環境整備推進事業	宮城におけるワーケーションの一層の普及促進を図るため、県内のワーケーション施設等の情報を一元化したポータルサイトを構築し、効果的な情報発信を行う。	○R4年度に開設したWEBサイト「Miwork 宮城」において、ワークスペース、宿泊施設及び観光施設等のワーケーション情報を一元化して発信することで、宮城のワーケーションの普及促進及び利用者の利便性向上に努めた。 R5年度掲載施設数:128件、総ページビュー数:49,345ビュー	○ (29,964)	○ (1,455)	○ (1,386)		●															① ⑤
観光戦略課 (観光政策課)	観光誘客推進事業	県内市町村のほか、関係団体等と連携し、本県における観光資源を磨き上げ、魅力の向上を図るとともに誘客活動の実施により、幅広い層の観光客の確保を図る。	○(R4年度)県制150周年記念キャンペーンと連動した事業のほか、コンテンツツーリズムへの対応、SNSによる観光誘客情報発信等を実施した。 ○(R5年度)「みやぎ応援ポケモン」ラプラスを活用した事業のほか、コンテンツツーリズム促進のためのマップ作製、SNSによる観光誘客情報発信等を実施した。 (主な実績)・「ラプラス+海巡り」エンリユーザー数1,308人 ・「阿武急ラプラス&ラッキートレインでGO! アブQからの挑戦状」参加者数892人 ・「仙台・宮城アニメ・漫画ゆかりの地探訪MAP」(せんだい・宮城フィルムコミッションと共同製作)発行部数30,000部 ・宮城県公式SNS運営Instagram投稿数233(フォロワー数約7,400人増)	○ (83,290)	○ (72,028)	○ (85,739)		●	●	●		●											③ ⑤
観光戦略課 (観光プロモーション推進室)	宮城オルレ推進事業	韓国済州島発祥のトレッキング「オルレ」の宮城県版「宮城オルレ」のコースを県内各地で整備し、魅力あるコンテンツとして磨き上げ、国内外からの誘客促進・交流人口の拡大を図る。	○国内向けには、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら「宮城オルレフェア」を開催した。 「宮城オルレフェア2022」9月17日～11月30日まで350人以上が参加 「宮城オルレフェア2023」8月21日～11月30日まで400人以上が参加 延べ利用者数:約6.2万人(平成30年10月のオープン以降、国内外合計) ○R4年度は台湾にてアジア・トレイルズ・カンファレンスに参加し、宮城オルレのPR等を実施。R5年度は、国内では九州オルレウォーキングフェスティバル、海外向けには、済州オルレウォーキングフェスティバル代替イベントに現地参加し、いずれもパンフレット等を配布。R6年度は、台湾及び韓国の大崎・鳴子コース団体ツアー客に対して、地方振興事務所、大崎市等と連携した「賑やかし」を実施。	○ (23,351)	○ (73,011)	○ (54,200)		●		●	●		●										① ③ ⑤
富県宮城推進室・商工金融課・観光戦略課(観光政策課)	蛻変プロジェクト	地域の担い手自身が地域の課題意識や目指すべき姿を共有するとともに、人流や投資を呼び込むことによる地域経済の循環や持続可能なまちづくりを支援する。	○(R4年度)鳴子温泉地区において、空き家を改修したカフェ兼コワーキングスペースの整備を支援するとともに、地域の担い手との意見交換会やモデル地域間の交流会を開催した。 ○(R5年度)大崎市鳴子温泉地区等の3地区をモデル地域とし、意見交換会を2回開催したほか、地域の担い手と連携しながら新たな賑わい創出に向けたイベントを開催した。	○ (15,931)	○ (3,838)	○ (16,100)			●	●	●		●	●									① ⑤
農山漁村なりわい課	むらまち交流拡大推進事業	農山漁村と都市の交流活動を推進するため、地域の受入体制づくりと交流活動に向けた広報や情報発信を行う。また、広域ネットワーク組織を設置し、地域間の連携を強化する。	○(R4年度)都市農村交流人材育成研修会、農泊講演会開催、農泊地域紹介動画作成、農泊WEBサイトSNS広告、農泊地域実態調査実施、農山漁村交流アドバイザー派遣の実施(5回) ○(R5年度)農泊地域のニーズに合わせたテーマ別研修会、交流会開催、農泊地域紹介動画作成(2地域)、農山漁村交流アドバイザー派遣の実施(6回)	○ (3,921)	○ (3,495)	○ (4,221)																	②
農山漁村なりわい課	地域資源・キャリア人材フル活用事業	山漁村地域において、農泊等の受入体制づくりや都市と地域の交流に向けたコーディネート人材の育成を支援する。	○R5年度実施状況 ・みやぎのINAKA応援隊による地域活動実施 ・交流拡大に向けた受入体制構築・活動支援(5地域) ・都市人材・企業連携コーディネーター育成(2地域)	○ (5,878)	○ (6,124)	—																	②
北部地方振興事務所	大崎地域飲食店等支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、集客や売上の面で深刻な影響を受けている飲食店を支援するため、大崎地域のテイクアウトやデリバリーサービスを提供する飲食店情報を収集し、県ホームページなどの各種媒体で広く周知する。また、大崎合同庁舎に勤務する職員に対し、地元飲食店等の商品斡旋を継続的に実施する。	○R4年度に、大崎合同庁舎に勤務する職員を対象とした地元飲食店等の商品斡旋を32回(総販売額2,287,680円)実施した。	○ (非予算)	—	—		●														—	
北部地方振興事務所	キャンパー誘客・地元農産物消費促進事業	大崎地域の農産物直売所とキャンプ場の利用を連動させるキャンペーンを実施し、交流人口と大崎地域内の農産物購入人口の増加を図る。また、各キャンプ場等のインスタ映え画像をSNSで発信することにより、誘客促進を図る。	○R4年度に対象の大崎地域のキャンプ場等を利用し、かつ対象の大崎地域の農産物直売所を利用して応募した方に賞品が当たるキャンペーンを実施し、同時に大崎地域の魅力あふれる写真を投稿した方に賞品が当たるキャンペーンを同時に実施した。	○ (1,581)	—	—																③ ⑥	

②市町等実施分

実施主体	事業名	事業概要	令和4年度	令和5年度	令和6年度	該当する戦略										施策の方向性		
						回復戦略		成長戦略1			成長戦略2		成長戦略3		成長戦略4			
						(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)		(2)	
大崎市	国内都市交流事業	姉妹都市等(東京都台東区, 愛媛県宇和島市, 北海道当別町, 富山県黒部市他)との都市交流事業を通し、交流人口の増加ならびに移住定住を促進します。「おおさき宝大使」を活用した市の知名度向上を図り、誘客に繋がります。	○	○	○		●	●	●		●							③ ⑥
大崎市	物産振興事業	宮城県のアンテナショップをはじめとして、首都圏、仙台圏等で物産販売を行い、市の特産品や伝統工芸品を通した市のPRと販路拡大を図ります。	○	○	○	●	●	●	●		●							⑥
大崎市	観光振興推進事業	地域おこし協力隊を活用して、観光商品の開発やSNS等での情報発信を行い、交流人口拡大を図ります。	○	○	○	●	●	●			●		●	●				③ ⑤ ⑥
大崎市	シティプロモーション事業	SNS等を活用して市の自然、歴史、文化、食やイベント等の情報発信を行い誘客を図ります。	○	○	○	●	●									●		② ③
大崎市	教育旅行推進事業	東北旅行セミナー等に参加し、旅行エージェントや学校関係者等に対して、世界農業遺産に認定された大崎耕土や観光資源を紹介することで、教育旅行誘致を図ります。	○	○	○		●	●	●		●							②
大崎市	観光振興事業	台湾旅行博へ出展し、世界農業遺産「大崎耕土」をはじめとする市の魅力を紹介することによりインバウンドの誘客を図ります。	○	○	○	●	●	●			●			●	●			② ③ ⑤
大崎市	観光振興事業	宮城オルレ大崎・鳴子温泉コースと温泉等の観光資源をあわせたPRやイベントの開催により誘客を図るとともに、コースの適切な管理を行います。	○	○	○		●	●										①
大崎市・みやぎ大崎観光公社	観光振興事業	市の自然、歴史、文化、食などの資源を活用した旅行商品の企画販売と情報発信、イメージキャラクターを活用した各種イベント等での観光PR、観光案内所での観光客への各種情報提供を行います。	○	○	○		●	●	●		●					●		② ⑤ ⑥
色麻町	交流人口増加のためのコンテンツ創出戦略策定事業	地域資源を活用した観光コンテンツを創出することにより、交流人口や関係人口の獲得と地域の活性化を図ると共に、アフターコロナを見据えて、色麻町ならではのことができるような「コト」を発掘し、その磨き上げと活用の方角性を検討します。	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	⑤ ⑥
加美町	モンベルアウトドア振興事業	モンベルフレンドタウンとして、アウトドアランド形成事業を推進します。	○	○	○		●				●							③ ⑤
加美町	国際ビジネス推進事業	R6年度新規事業 町へのインバウンド誘客に向け、インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツの造成を推進する。			○	●	●	●	●		●	●				●	●	③ ⑤
涌谷町	篁岳山・篁峯寺周辺の魅力増進事業	「雲海」を一般の観光客が見ることができるよう環境整備を進め、篁峯寺の座禅体験と併せ、ツアー等に組み込めるよう働きかけを行います。	○	○	○	●	●	●	●							●	●	③ ⑤
日本遺産「みちのくGOLD浪漫」推進協議会(涌谷町)	「金」のストーリーでつながる広域連携推進事業	日本遺産「みちのくGOLD浪漫」を旗印に、金の歴史を共有する構成市町(涌谷町・南三陸町・気仙沼市・平泉町・陸前高田市・石巻市)との連携を推進し、国内外からの誘客を図ります。	○	○	○	●	●	●	●		●	●				●	●	③
涌谷町観光物産協会(涌谷町)	地場産品振興事業	町内特産品を広くPRし、町の認知度の向上を図ると共に、販売量の増加と販路の拡大を目指します。また、関係機関の主催するイベントに参加し、特産品のPR及び販売を行います。	○	○	○	●	●	●	●							●	●	③ ⑥
美里町	物産観光振興事業	町の魅力向上と地域経済の活性化に寄与することを目的に、町の物産販売、魅力PR、総合案内所運営、催事開催等を行います。	○	○	○		●	●	●		●	●						⑤ ⑥